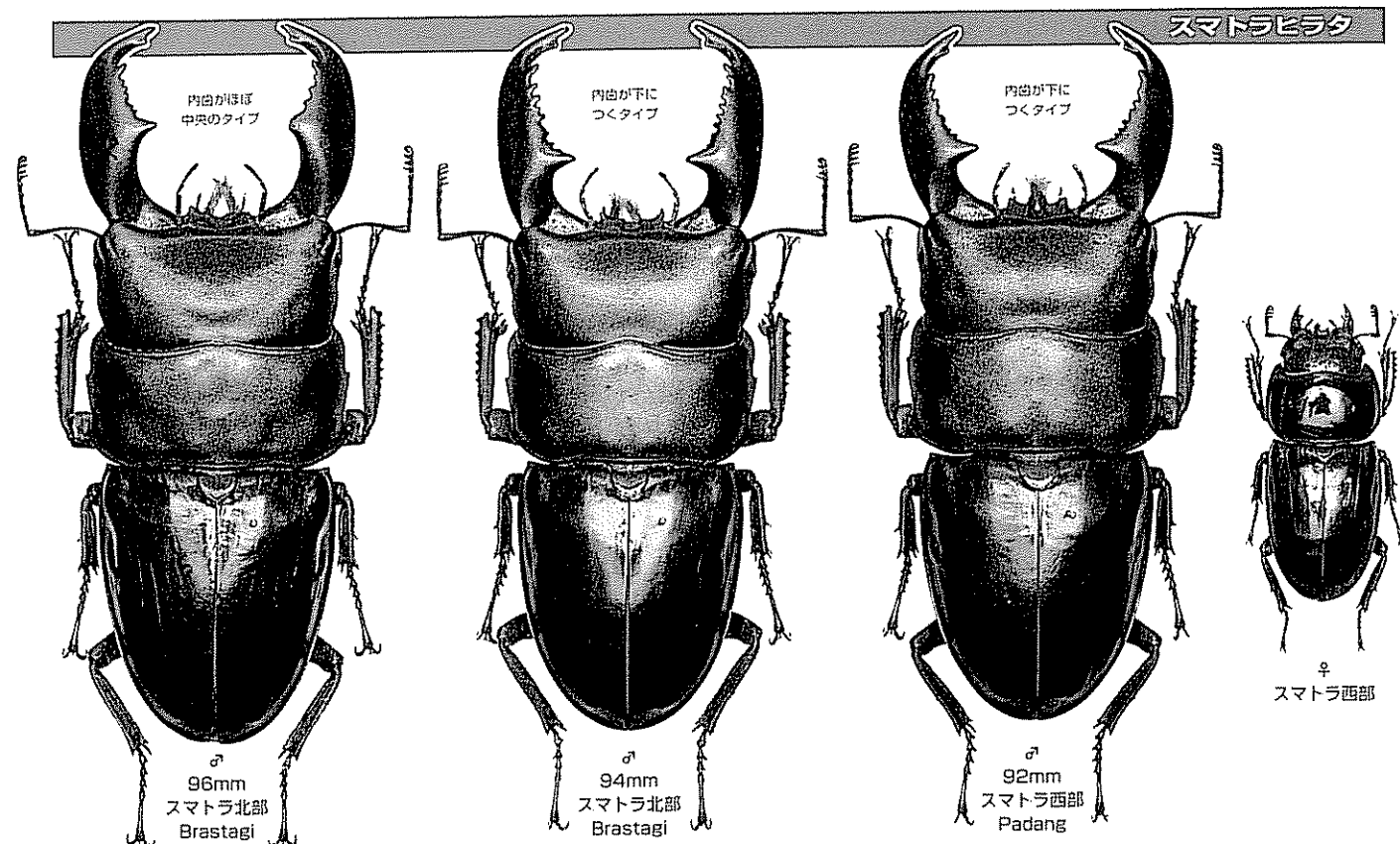
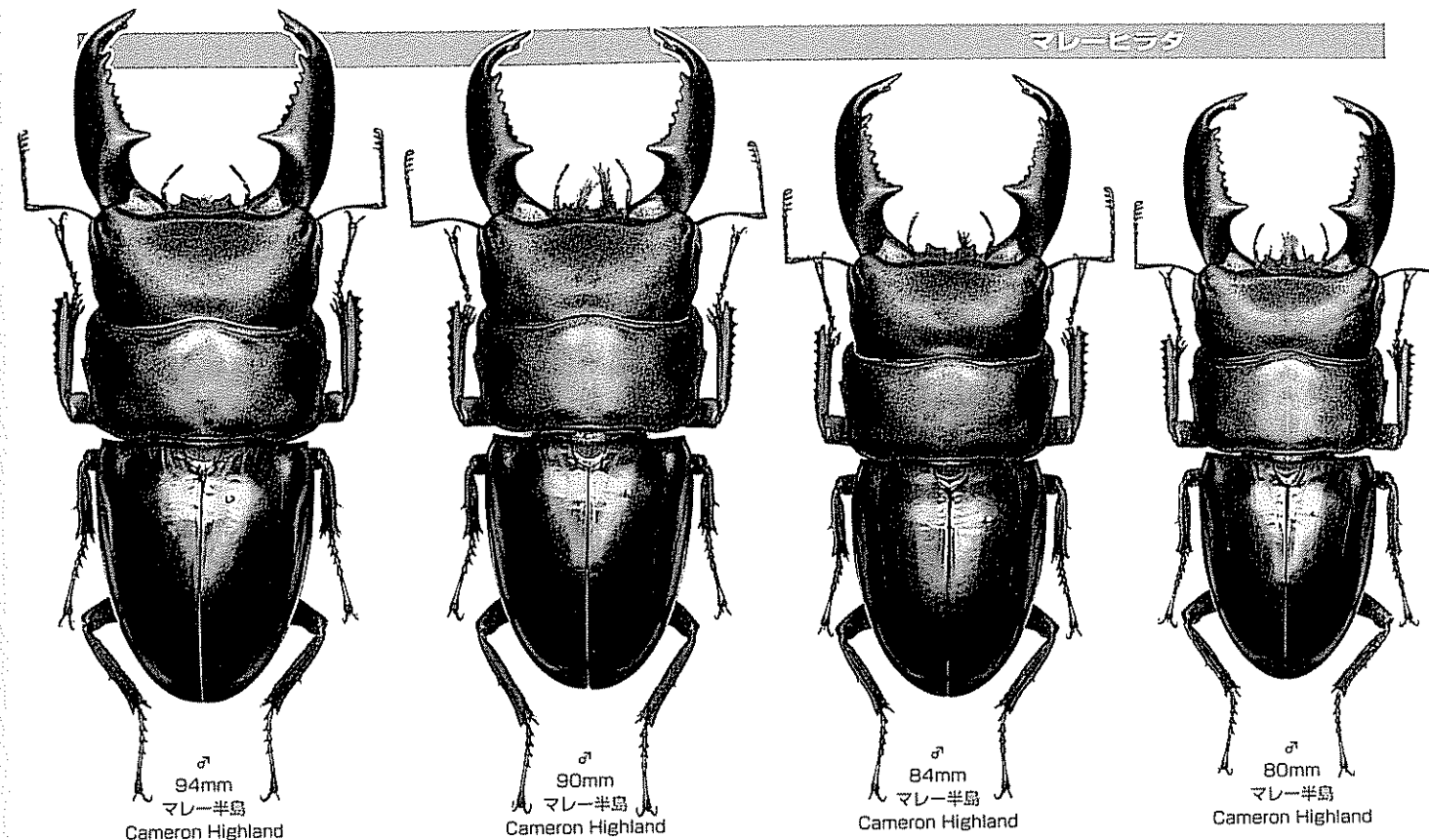
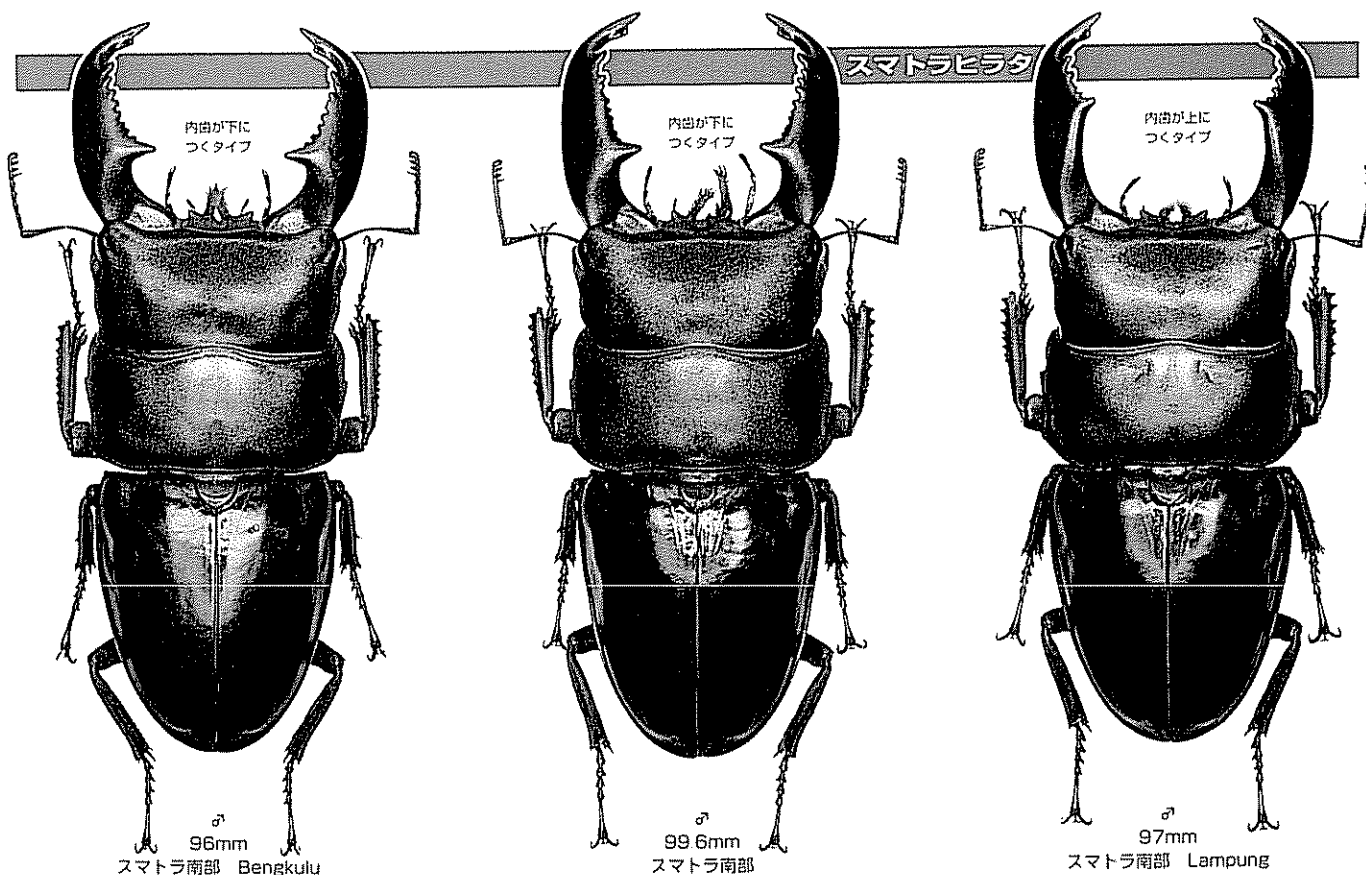




スマトラのヒラタクワガタ

スマトラのヒラタは、全ヒラタの中でもっとも大あごと体の幅が広く、体の表面の光沢が強い。「長さではバラワンヒラタ、横幅ではスマトラヒラタ」と人気を二分する魅力のあるヒラタクワガタである。大あごの内歯は、北部では下につくタイプが多く、南部では上につくタイプが多いが、不安定でどちらのタイプも出現する。



マレー半島・ニアス島のヒラタクワガタ

インドシナ半島最南端のマレー半島部へさしかかると、ヒラタクワガタの形態も変わってきて、大あごも体も幅広い *titanus* となる。*castanicolor*, *platymelus*, *westermanni* が8cmを超えるサイズにとどまっているのに、*titanus* では10cmを超える超特大個体も出現する。ニアス島産はスマトラ産に比べて、やや細身で、体の表面の光沢はにぶい。

